

歩 街 田原

街あるつく田原

第25号

- 伝統を受け継ぐ
- 田原の山車
- 柏屋

平成26年9月1日号

発行元 / 株式会社あつまるタウン田原

所在地 / 愛知県田原市田原町萱町1

TEL / 0531-24-2345 URL / <http://www.tahara-tmo.com/>



田原祭り

江戸時代からの伝統を受け継ぐ祭り

田原祭りの起源は江戸時代。熊野神社の祭礼として始まったと伝えられています。明治時代以降、名古屋型山車が田原に登場し、いつしか精巧なからくり人形が人々を魅了するようになりました。

現在では、八幡社・神明社・巴江神社の祭りをあわせて、「田原祭り」と呼ぶようになりました。

田原祭りは、城下町・田原を代表する祭りで、元々は八幡社・神明社・巴江神社の氏子の祭りでした。八幡社は新町、神明社は本町・萱町・衣笠、巴江神社は巴江のそれぞれの氏子がお祀りしています。

昼間はからくり人形を載せた3台の山車や、各町の、神輿が街中を練り歩き、夜は着飾った子供たちや青年が、夜山車の上で手踊りを披露します。祭りのフィナーレを迎える最終日の夕方になると、はなのき広場で手筒・大筒花火があげられ、午後8時からクラ イマックスを飾る打ち上げ花火が夜空に咲き誇ります。



▲屋山車のお囃子方

田原祭りは、毎年9月の敬老の日に最も近い土曜日・日曜日に行われており、今年は9月13日(土)・14日(日)に開催されます。

また田原町には、田原の祭り文化に出会える場所、「田原まつり会館」があります。田原市の城下町文化を伝え、市の有形民俗文化財に指定されている山車の展示や、市の無形民俗文化財の田原風などを中心に、壮大なまつりの情景を再現し、紹介しています。古くから培われた祭り文化を、後世に伝える田原市の文化のシンボルがこの場所にあります。ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



▲田原まつり会館内 展示の様子

●田原祭りの詳細は、田原まつり会館のホームページをご覧ください。
<http://www.taharakankou.gr.jp/spot/000042.html>

(問い合わせ先)

0531-22-7337



田原まつり会館

観客を魅了する からくり人形

祭りの主役となる豪華な屋台仕立ての昼山車は、新町・本町・萱町が1台ずつ保有しています。田原の山車は、宝暦7年（1757年）8月に、当時の本町上り町・横町・中町が申し合わせ、合同で田原藩の浅黄無紋の横幕・天幕を借用し、車を仕立てたことが始まりといわれています。

また、山車からくりは二層唐破風屋形四輪の名古屋型と呼ばれるものです。中世に熱田と津島の天王祭りに出された「大山」がその根元だといわれています。

その昔、神々が宿る神聖なものとされた山車からくり。踊りながら変わり身する人形の様子に、人々は神々の降臨する姿をかい見たのではないのでしょうか。



萱町山車



新町山車



本町山車

◆名称：神功皇后車
じんこうこうごうしゃ

明治29年に新調された山車です。神功皇后と武内宿禰の新羅討伐の逸話「魚釣り人形」を参考にしたとされ、囃子にあわせて鮎を釣り上げ、喜ぶ様子を演じます。采振り人形は袴姿の男装の童女で、目元に細工が施され、返り目や舌出しの様子がユニークな純和風のからくり人形です。



▲からくり人形
①神功皇后人形 ②武内宿禰人形
③采振り人形

◆名称：應神天皇車
おうじんてんのうしや

平成15年に修復された、艶やかな山車。この山車は、昭和3年に新町の町内会が購入したものです。大將座に威厳のある應神天皇が立ち、右前に女官、前立人形には唐子の采振り人形がしつらえられています。唐子人形の巧妙で鮮やかなしぐさは必見です。



▲からくり人形
①應神天皇人形 ②女官人形
③唐子の采振り人形

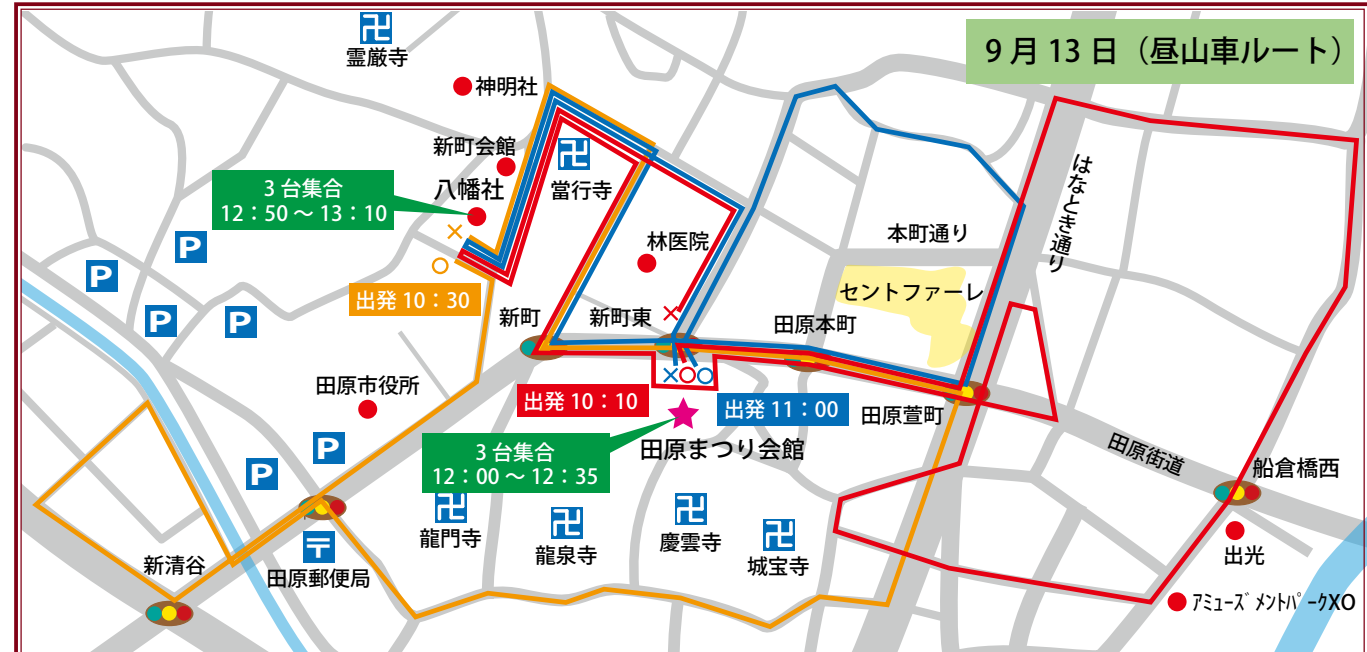
◆名称：総代人車
そうだいにしや

明治13年、新しく建造された山車です。前棚の人形は、おどけた表情で人氣が高い総代人形。日本武尊のお供として黒衣水干姿で白い御幣を左右に振りながら厄払いをします。赤い舌をペロリと出すことから「おべろべい人形」と呼ばれ、親しまれています。



▲からくり人形
①日本武尊人形 ②総代人形
③巫女人形

9月13日（昼山車ルート）



9月14日（昼山車ルート）



《街なか情報ピックアップ》 …街のホットな話題をご紹介します…

三河田原駅 全線運用開始

昨年10月、新駅舎が完成した豊橋鉄道渥美線・三河田原駅では、8月2日に線路の工事が完成し、全線運用開始となりました。

田原着の終電より、翌朝の始発まで全5線に5台のカラフルトレインが並ぶ様子は壮観です。一見の価値があるので、ぜひ足をお運びください。



▲カラフルトレイン（三河田原駅）

田原の企業・お店で活躍されている方をご紹介します！

株式会社 柏屋 今泉 太嗣さん

●プロフィール

1985年、田原町生まれ。2006年家業を継ぐ。



▲「株式会社 柏屋」の今泉太嗣さん。



住 田原市田原町西大浜 3
☎ 0531-22-0216
営 予約対応
休 毎週木曜日
駐 30台



お店の歴史

西大浜に店を構える株式会社柏屋。昭和27年に会社を設立し、地元密着型で仕出し宴会料理を中心に商売しています。

お店の創業は江戸時代。宿屋として創業し、渡辺崋山先生も利用されたこともあるとか。今泉さんは高校卒業後、名古屋の大学に入学、平成18年に地元田原に戻り、家業を継ぐことになりました。

お客様にやさしい店づくり

店舗は3階建て、1階は調理場、2階には御膳料理で120名収容可能な大広間があります。3階には数名から12名までの個室も完備され、少人数から150名まで、様々な宴会や法事、歓送迎会等に対応しています。

昭和30年代頃、当時は珍しかった祖父自慢のエレベーターが完備されました。子供からお年寄り、足の不自由な方まで、楽に宴会場に行くことができます。また、座イスを準備したり、新しいテーブルやイスの導入を検討したりするなど、どなたでも気兼ねなくご利用頂ける環境を提供していきたいと話してくださいました。

地産地消へのこだわり

料理は地元食材にこだわり、良いものを安く提供することを心掛けています。宴会料理だけでなく、地元の企業には、数百円から千円前後のお弁当が人気です。完全予約制の為、事前のご予約が必要です。

地域との関わり

今泉さんは、

田原市商工会青年部、消防団、田原青年会議所、お祭り等に参加し、今年12日から開催する田原祭りに、10年以上前から関わっています。様々な団体に所属し、積極的に参加することで、少しでも地域が発展し、住み良い街になるよう活動されています。

これからも、地域の皆さんに愛される店を目指し頑張ってくださいね。

【次回のお知らせ】

今回は、株式会社柏屋さんからバトンを受け取った「尾沢時計眼鏡店」の尾澤智宏さんをご紹介します。お楽しみに♪

